

平成 27 年 9 月 3 日
【照会先】
 大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課
 課長 廣瀬 滋樹
 課長補佐 根本 健治
 (担当・内線)
 死亡・死産担当 年報第一係 (内線 7490)
 出生・婚姻・離婚担当 年報第二係 (内線 7491)
 (電話) 03-5253-1111 (代表)
 03-3595-2812 (ダイヤル)

平成 26 年 (2014) 人口動態統計 (確定数) の概況

	目 次	頁
調査の概要	1
結果の概要	3
(統計表)		
第1表	人口動態総覧	4
第2表-1	人口動態総覧の年次推移	5
第2表-2	人口動態総覧(率)の年次推移	7
第3表-1	人口動態総覧, 都道府県(21大都市再掲)別	9
第3表-2	人口動態総覧(率), 都道府県(21大都市再掲)別	11
第4表	母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数	13
第5表	年齢(5歳階級)・出生順位別にみた合計特殊出生率(内訳)	14
第6表	性別にみた死因順位(第10位まで)別 死亡数・死亡率(人口10万対)・構成割合	15
第7表	死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率(人口10万対)	16
(別表)	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態	19
付 表	諸率の算出に用いた人口	20
参 考	合計特殊出生率について	21

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 人口動態調査は、我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成26年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成26年1月1日～同年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統 市区町村 —— 保健所 —— 都道府県 —— 厚生労働省

┌
└
┌
└

保健所を・特別区
設置する市
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

※ 人口動態調査は、統計法に基づく基幹統計「人口動態統計」を作成するための統計調査である。

《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報 数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人（いずれも前年以前発生のもを含む） 公表：毎月（調査月の約2か月後）

人口動態統計月報 数値：概数 集計客体：日本における日本人（前年以前発生ものを除く） 公表：毎月（調査月の約5か月後） ：毎年（年間合計）（調査年の翌年6月）

人口動態統計年報 数値：確定数（概数に修正を加えたもの） 集計客体：日本における日本人（日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲） 公表：毎年（調査年の翌年9月）
--

※本概況は太枠の部分である。

報告書（刊行は平成28年2～3月頃）

- 上巻（人口動態調査の概要及び結果の解析を収録）
- 中巻（出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録）
- 下巻（死因に関する統計表を収録）

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の解説

- 自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡
- 新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死 産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

4 比率の解説

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\text{年間自然増減数 (年間出生数 - 年間死亡数)}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率 (総数・自然・人工)} = \frac{\text{年間死産数 (妊娠満12週以後の死児の出産) (総数・自然・人工)}}{\text{年間出産数 (年間出生数 + 年間死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数 + 年間の妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{妊娠満22週以後の死産率} = \frac{\text{年間の妊娠満22週以後の死産数}}{\text{年間出生数 + 年間の妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間早期新生児死亡数 (生後1週 (7日) 未満の死亡数)}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{年間の母の年齢別出生数}}{\text{10月1日現在年齢別女性人口}} \right\} \text{15歳から49歳までの合計}$$

〔全国値は、各歳別の出生数及び女性の日本人人口で算出したものを合計している。
都道府県値は、5歳階級別の出生数及び女性の総人口で算出し、5倍したものを合計している。〕

合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left\{ \left[\text{観察集団の各年齢 (年齢階級) の死亡率} \right] \times \left[\text{基準人口集団のその年齢 (年齢階級) の人口} \right] \right\} \text{の各年齢 (年齢階級) の総和}}{\text{基準人口集団の総数}}$$

年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口、20ページ）にあてはめて算出した指標である。

なお、計算式中の「観察集団の各年齢（年齢階級）の死亡率」は、1,000倍されたものである。

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{年間の死因別死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 100,000$$

結 果 の 概 要

1 出生数は減少

出生数は100万3539人で、前年の102万9816人より2万6277人減少し、出生率（人口千対）は8.0で前年の8.2より低下した。合計特殊出生率は1.42で前年の1.43より低下した。（第1表）

母の年齢（5歳階級）別にみると、出生数は14歳以下及び20～39歳の各階級では前年より減少したが、15～19歳及び40歳以上の各階級では増加した。合計特殊出生率の内訳は20～29歳の各階級では前年より低下したが、15～19歳及び30～49歳の各階級では上昇した。なお、30～34歳の階級が最も高くなっている。（第4表（1）、第5表（1））

出生順位別にみると、出生数はいずれの出生順位も前年より減少した。合計特殊出生率の内訳は第1子及び第3子以上は前年より上昇したが、第2子は低下した。（第4表（2）、第5表（2））

母の年齢（5歳階級）別と出生順位別を併せてみると、出生数は20～34歳の各階級ではいずれの出生順位も前年より減少したが、40～49歳の各階級ではいずれの出生順位も前年より増加した。合計特殊出生率の内訳は20～29歳の各階級ではいずれの出生順位も前年より低下したが、35～44歳の各階級ではいずれの出生順位も前年より上昇した。（第4表（3）、第5表（3））

2 死亡数は増加

死亡数は127万3004人で、前年の126万8436人より4568人増加し、死亡率（人口千対）は10.1で前年と同率となった（第1表）。

死因別にみると、悪性新生物の死亡数は36万8103人で、死亡率（人口10万対）は293.5であり、死亡総数の28.9%を占めて死因順位の第1位となっている。なお、第2位は心疾患、第3位は肺炎である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.0、女2.6で、男女ともに前年の男5.1、女2.7より低下した（第1表）。

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△26万9465人で、前年の△23万8620人より3万845人減少し、自然増減率（人口千対）は△2.1で前年の△1.9より低下し、数・率ともに8年連続でマイナスかつ減少となった（第1表、第2表－1、第2表－2）。

4 死産数は減少

死産数は2万3524胎で、前年の2万4102胎より578胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は22.9で、前年と同率となった（第1表）。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は64万3749組で、前年の66万613組より1万6864組減少し、婚姻率（人口千対）は5.1で前年の5.3より低下した（第1表）。

6 離婚件数は減少

離婚件数は22万2107組で、前年の23万1383組より9276組減少し、離婚率（人口千対）は1.77で前年の1.84より低下した（第1表）。

(統計表)
第1表 人口動態総覧

	実数 (人、胎、組)			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成26年	平成25年	対前年増減	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
出生	1 003 539	1 029 816	△ 26 277	8.0	8.2	31s	31s
男	515 533	527 657	△ 12 124	8.4	8.6	1m 1s	1m 0s
女	488 006	502 159	△ 14 153	7.6	7.8	1m 5s	1m 3s
死亡	1 273 004	1 268 436	4 568	10.1	10.1	25s	25s
男	660 334	658 684	1 650	10.8	10.8	48s	48s
女	612 670	609 752	2 918	9.5	9.5	51s	52s
(再掲)							
乳児死亡	2 080	2 185	△ 105	2.1	2.1	4h 12m 42s	4h 0m 33s
新生児死亡	952	1 026	△ 74	0.9	1.0	9h 12m 6s	8h 32m 17s
自然増減	△ 269 465	△ 238 620	△ 30 845	△ 2.1	△ 1.9
死産	23 524	24 102	△ 578	22.9	22.9	22m 21s	21m 48s
自然死産	10 905	10 938	△ 33	10.6	10.4	48m 12s	48m 3s
人工死産	12 619	13 164	△ 545	12.3	12.5	41m 39s	39m 56s
周産期死亡	3 750	3 862	△ 112	3.7	3.7	2h 20m 10s	2h 16m 6s
妊娠満22週以後の死産	3 039	3 110	△ 71	3.0	3.0	2h 52m 57s	2h 49m 0s
早期新生児死亡	711	752	△ 41	0.7	0.7	12h 19m 14s	11h 38m 56s
婚姻	643 749	660 613	△ 16 864	5.1	5.3	49s	48s
離婚	222 107	231 383	△ 9 276	1.77	1.84	2m 22s	2m 16s

	平成26年	平成25年
合計特殊出生率	1.42	1.43
年齢調整死亡率 ¹⁾ 男	5.0	5.1
女	2.6	2.7

注：1) 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚・年齢調整死亡率は人口千対、乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数	
			乳児死亡数	新生児死亡数		
1947	昭和22年	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
48	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
49	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
51	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
52	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
53	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
54	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
55	30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
56	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
57	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
58	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
59	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
61	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
62	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
63	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
64	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
65	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
66	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
67	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
68	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
69	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
71	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
72	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
73	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
74	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
75	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
76	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
77	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
78	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
79	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
81	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
82	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
83	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
84	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
85	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
86	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
87	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
88	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
89	平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
91	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
92	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
93	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
94	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
95	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
96	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
97	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
98	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
99	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
01	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
02	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
03	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
04	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
05	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
06	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
07	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
08	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
09	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708
11	23	1 050 806	1 253 066	2 463	1 147	△ 202 260
12	24	1 037 231	1 256 359	2 299	1 065	△ 219 128
13	25	1 029 816	1 268 436	2 185	1 026	△ 238 620
14	26	1 003 539	1 273 004	2 080	952	△ 269 465

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。
 2) 周産期死亡数は妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものである。
 3) (参考)の周産期死亡数(妊娠満28週以後)は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものである。
 平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。
 4) 死産数の総数の昭和23年、24年には自然死産・人工死産の不詳を含む。なお、*印は概数である。

(単位：人、胎、組)

(参考)

死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数	周産期 死亡数 ³⁾ (妊娠満28週以後)	年次 ¹⁾	
総数	自然死産	人工死産					昭	和
123 837	934 170	79 551	...	昭	22
⁴⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032	...		23
⁴⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575	...		24
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843	25	1950
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865	26	51
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527	27	52
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932	28	53
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776	29	54
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918	30	55
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706	31	56
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502	32	57
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625	33	58
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912	34	59
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552	35	1960
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063	36	61
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650	37	62
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049	38	63
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827	39	64
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904	40	65
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583	41	66
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846	42	67
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921	43	68
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419	44	69
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917	45	1970
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900	46	71
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754	47	72
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598	48	73
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383	49	74
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513	50	75
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133	51	76
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708	52	77
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217	53	78
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481	54	79
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385	55	1980
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531	56	81
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303	57	82
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035	58	83
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998	59	84
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470	60	85
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148	61	86
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317	62	87
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508	63	88
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450	平成元年	89
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001	2	1990
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544	3	91
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321	4	92
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989	5	93
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134	6	94
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526	7	95
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321	8	96
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974	9	97
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927	10	98
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665	11	99
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562	12	2000
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238	13	01
36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224	14	02
35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995	15	03
34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671	16	04
31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492	17	05
30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420	18	06
29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306	19	07
28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178	20	08
27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096	21	09
26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378	3 065	22	2010
25 751	11 940	13 811	4 315	661 895	235 719	2 961	23	11
24 800	11 448	13 352	4 133	668 869	235 406	2 759	24	12
24 102	10 938	13 164	3 862	660 613	231 383	2 649	25	13
23 524	10 905	12 619	3 750	643 749	222 107	2 501	26	14

第2表-2 人口動態総覧（率）の年次推移

年次 ¹⁾		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ²⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出産千対)		
1947	昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
48	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
49	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
51	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
52	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
53	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
54	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
55	30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
56	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
57	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
58	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
59	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
61	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
62	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
63	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
64	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
65	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
66	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
67	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
68	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
69	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
71	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
72	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
73	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
74	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
75	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
76	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
77	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
78	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
79	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
81	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
82	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
83	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
84	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
85	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
86	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
87	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
88	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
89	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
91	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
92	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
93	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
94	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
95	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
96	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
97	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
98	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
99	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
01	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
02	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
03	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
04	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
05	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
06	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
07	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
08	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
09	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
11	23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8
12	24	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6
13	25	8.2	10.1	2.1	1.0	△ 1.9	22.9	10.4	12.5
14	26	8.0	10.1	2.1	0.9	△ 2.1	22.9	10.6	12.3

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。

周産期死亡率 ³⁾ (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)
...	12.0	1.02
...	11.9	0.99
...	10.3	1.01
...	8.6	1.01
...	7.9	0.97
...	7.9	0.92
...	7.8	0.86
...	7.9	0.87
...	8.0	0.84
...	7.9	0.80
...	8.5	0.79
...	9.0	0.80
...	9.1	0.78
...	9.3	0.74
...	9.4	0.74
...	9.8	0.75
...	9.7	0.73
...	9.9	0.74
...	9.7	0.79
...	9.5	0.80
...	9.6	0.84
...	9.5	0.87
...	9.6	0.89
...	10.0	0.93
...	10.5	0.99
...	10.4	1.02
...	9.9	1.04
...	9.1	1.04
...	8.5	1.07
...	7.8	1.11
...	7.2	1.14
...	6.9	1.15
21.6	6.8	1.17
20.2	6.7	1.22
19.5	6.6	1.32
18.3	6.6	1.39
16.9	6.4	1.51
16.6	6.2	1.50
15.4	6.1	1.39
14.6	5.9	1.37
13.7	5.7	1.30
12.7	5.8	1.26
12.1	5.8	1.29
11.1	5.9	1.28
8.5	6.0	1.37
8.1	6.1	1.45
7.7	6.4	1.52
7.5	6.3	1.57
7.0	6.4	1.60
6.7	6.4	1.66
6.4	6.2	1.78
6.2	6.3	1.94
6.0	6.1	2.00
5.8	6.4	2.10
5.5	6.4	2.27
5.5	6.0	2.30
5.3	5.9	2.25
5.0	5.7	2.15
4.8	5.7	2.08
4.7	5.8	2.04
4.5	5.7	2.02
4.3	5.8	1.99
4.2	5.6	2.01
4.2	5.5	1.99
4.1	5.2	1.87
4.0	5.3	1.87
3.7	5.3	1.84
3.7	5.1	1.77

合計特殊出生率	年齢調整死亡率 (人口千対)	
	男	女
4.54	23.6	18.3
4.40	19.3	15.4
4.32	18.9	15.0
3.65	18.6	14.6
3.26	16.9	13.4
2.98	15.7	12.4
2.69	16.4	12.6
2.48	15.2	11.3
2.37	14.8	11.0
2.22	15.6	11.5
2.04	16.3	11.8
2.11	14.4	10.4
2.04	14.4	10.2
2.00	14.8	10.4
1.96	14.3	10.0
1.98	14.6	10.0
2.00	13.4	9.3
2.05	13.2	9.1
2.14	13.7	9.3
1.58	12.7	8.7
2.23	12.6	8.5
2.13	12.5	8.4
2.13	12.4	8.2
2.13	12.3	8.2
2.16	11.5	7.6
2.14	11.2	7.4
2.14	11.2	7.4
2.05	10.9	7.2
1.91	10.4	6.9
1.85	10.1	6.6
1.80	9.6	6.2
1.79	9.4	6.0
1.77	9.0	5.7
1.75	9.2	5.8
1.74	8.9	5.6
1.77	8.5	5.2
1.80	8.6	5.2
1.81	8.3	5.0
1.76	8.1	4.8
1.72	7.8	4.6
1.69	7.6	4.4
1.66	7.7	4.5
1.57	7.4	4.2
1.54	7.5	4.2
1.53	7.4	4.1
1.50	7.4	4.0
1.46	7.3	4.0
1.50	7.1	3.8
1.42	7.2	3.8
1.43	6.8	3.6
1.39	6.7	3.5
1.38	6.6	3.4
1.34	6.7	3.4
1.36	6.3	3.2
1.33	6.2	3.1
1.32	6.0	3.0
1.29	6.0	3.0
1.29	5.9	3.0
1.26	5.9	3.0
1.32	5.7	2.9
1.34	5.6	2.8
1.37	5.6	2.8
1.37	5.4	2.7
1.39	5.4	2.7
1.39	5.5	2.9
1.41	5.2	2.7
1.43	5.1	2.7
1.42	5.0	2.6

(参考)

周産期死亡率 (妊娠満28週以後) ⁴⁾ (出生千対)	年次 ¹⁾	
	昭和22年	1947
...	23	48
...	24	49
46.6	25	1950
46.7	26	51
45.6	27	52
46.0	28	53
45.1	29	54
43.9	30	55
45.5	31	56
45.0	32	57
43.9	33	58
43.0	34	59
41.4	35	1960
40.9	36	61
38.7	37	62
36.2	38	63
33.1	39	64
30.1	40	65
31.3	41	66
26.3	42	67
24.5	43	68
23.0	44	69
21.7	45	1970
20.4	46	71
19.0	47	72
18.0	48	73
16.9	49	74
16.0	50	75
14.8	51	76
14.1	52	77
13.0	53	78
12.5	54	79
11.7	55	1980
10.8	56	81
10.1	57	82
9.3	58	83
8.7	59	84
8.0	60	85
7.3	61	86
6.9	62	87
6.5	63	88
6.0	平成元年	89
5.7	2	1990
5.3	3	91
5.2	4	92
5.0	5	93
5.0	6	94
4.7	7	95
4.4	8	96
4.2	9	97
4.1	10	98
4.0	11	99
3.8	12	2000
3.6	13	01
3.7	14	02
3.6	15	03
3.3	16	04
3.3	17	05
3.1	18	06
3.0	19	07
2.9	20	08
2.9	21	09
2.9	22	2010
2.8	23	11
2.7	24	12
2.6	25	13
2.5	26	14

4) (参考)の周産期死亡率(妊娠満28週以後)は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾	出生数			死亡数			(再掲)			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 003 539	515 533	488 006	1 273 004	660 334	612 670	2 080	1 110	970	952
北海道	37 058	19 010	18 048	60 018	31 333	28 685	61	26	35	32
青森	8 853	4 508	4 345	17 042	8 856	8 186	17	9	8	9
岩手	8 803	4 536	4 267	16 274	8 266	8 008	17	7	10	6
宮城	18 069	9 385	8 684	22 854	11 752	11 102	35	14	21	23
秋田	5 998	3 098	2 900	15 096	7 535	7 561	15	8	7	6
山形	7 966	4 049	3 917	15 032	7 351	7 681	19	10	9	9
福島	14 517	7 436	7 081	23 495	11 929	11 566	27	15	12	10
茨城	21 873	11 197	10 676	30 341	15 905	14 436	58	27	31	31
栃木	15 442	7 963	7 479	20 755	10 864	9 891	56	29	27	28
群馬	14 522	7 515	7 007	21 441	11 127	10 314	19	10	9	10
埼玉	55 765	28 703	27 062	61 269	33 287	27 982	118	56	62	54
千葉	46 749	23 991	22 758	53 975	28 943	25 032	104	54	50	53
東京都	110 629	56 541	54 088	111 023	58 865	52 158	205	116	89	89
神奈川	72 996	37 565	35 431	74 387	40 411	33 976	149	78	71	75
新潟	16 480	8 424	8 056	28 316	14 316	14 000	33	19	14	13
富山	7 556	3 914	3 642	12 584	6 469	6 115	17	12	5	4
石川	8 961	4 580	4 381	12 190	6 138	6 052	21	10	11	5
福井	6 166	3 169	2 997	8 817	4 421	4 396	12	6	6	5
山梨	6 063	3 097	2 966	9 755	4 983	4 772	11	6	5	3
長野	15 848	8 173	7 675	24 751	12 398	12 353	23	13	10	10
岐阜	15 138	7 709	7 429	21 658	11 256	10 402	37	16	21	21
静岡	28 684	14 832	13 852	38 342	20 023	18 319	61	31	30	29
愛知	65 218	33 649	31 569	62 426	33 441	28 985	137	75	62	60
三重	13 727	7 033	6 694	19 525	9 921	9 604	27	11	16	15
滋賀	12 729	6 566	6 163	12 266	6 304	5 962	20	9	11	10
京都	19 583	10 025	9 558	25 507	12 872	12 635	35	23	12	15
大阪	69 968	35 787	34 181	81 653	43 783	37 870	138	80	58	65
兵庫	44 352	22 778	21 574	54 147	28 099	26 048	91	55	36	33
奈良	9 625	4 878	4 747	13 835	7 058	6 777	24	15	9	12
和歌山	7 140	3 665	3 475	12 609	6 305	6 304	18	10	8	6
鳥取	4 527	2 290	2 237	7 076	3 511	3 565	16	6	10	6
島根	5 359	2 730	2 629	9 369	4 692	4 677	13	11	2	3
岡山	15 837	8 215	7 622	21 051	10 730	10 321	26	14	12	13
広島	23 775	12 139	11 636	29 463	14 898	14 565	46	27	19	25
山口	10 197	5 309	4 888	17 910	8 844	9 066	26	15	11	15
徳島	5 502	2 885	2 617	9 853	4 957	4 896	19	11	8	9
香川	7 745	3 949	3 796	11 503	5 825	5 678	12	7	5	6
愛媛	10 399	5 446	4 953	17 529	8 736	8 793	16	9	7	9
高知	5 015	2 558	2 457	9 984	4 849	5 135	12	8	4	5
福岡	45 203	23 293	21 910	49 317	24 716	24 601	99	52	47	44
佐賀	7 159	3 667	3 492	9 732	4 801	4 931	9	6	3	5
長崎	11 323	5 840	5 483	17 091	8 457	8 634	24	9	15	5
熊本	15 558	7 974	7 584	20 461	9 973	10 488	25	13	12	10
大分	9 279	4 767	4 512	14 065	6 946	7 119	21	10	11	10
宮崎	9 509	4 904	4 605	13 110	6 512	6 598	24	14	10	9
鹿児島	14 236	7 331	6 905	21 413	10 516	10 897	38	21	17	17
沖縄	16 373	8 427	7 946	11 361	6 051	5 310	47	26	21	20
外国	65	33	32	163	113	50	2	1	1	-
不詳	・	・	・	1 170	996	174	-	-	-	-
(再掲)										
東京都の区部	78 423	40 112	38 311	75 626	40 059	35 567	152	84	68	67
札幌市	14 568	7 492	7 076	17 668	9 233	8 435	26	12	14	15
仙台市	9 243	4 799	4 444	8 266	4 354	3 912	17	7	10	13
さいたま市	10 397	5 410	4 987	9 578	5 169	4 409	17	4	13	9
千葉市	7 273	3 777	3 496	7 799	4 172	3 627	13	2	11	10
横浜市	30 149	15 483	14 666	30 038	16 240	13 798	44	22	22	26
川崎市	14 126	7 376	6 750	10 134	5 709	4 425	29	14	15	13
相模原市	5 525	2 776	2 749	5 459	3 077	2 382	15	8	7	7
新潟市	6 181	3 132	3 049	8 080	4 149	3 931	14	8	6	6
静岡市	5 371	2 751	2 620	7 392	3 869	3 523	11	6	5	7
浜松市	6 647	3 488	3 159	7 623	3 986	3 637	17	8	9	5
名古屋市	19 316	9 924	9 392	20 387	10 905	9 482	46	21	25	17
京都市	10 978	5 648	5 330	13 924	6 926	6 998	17	8	9	9
大阪市	21 940	11 141	10 799	27 138	14 868	12 270	40	30	10	19
堺市	6 859	3 468	3 391	7 647	4 090	3 557	10	5	5	6
神戸市	11 938	6 065	5 873	14 830	7 741	7 089	22	17	5	9
岡山市	6 397	3 365	3 032	6 388	3 263	3 125	8	2	6	5
広島市	10 822	5 523	5 299	9 950	5 057	4 893	25	13	12	12
北九州市	7 904	4 099	3 805	10 511	5 275	5 236	17	11	6	7
福岡市	14 559	7 511	7 048	11 052	5 676	5 376	27	12	15	12
熊本市	7 039	3 664	3 375	6 418	3 178	3 240	5	4	1	4

注：1）都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数	都道府県 ¹⁾
	総数	自然死産	人工死産	総数	妊娠満期 22週以後の死産	早産 新生児死亡			
△ 269 465	23 524	10 905	12 619	3 750	3 039	711	643 749	222 107	全 国
△ 22 960	1 101	460	641	148	123	25	26 018	11 003	北 海 道
△ 8 189	250	108	142	28	20	8	5 481	2 195	青 森 県
△ 7 471	213	117	96	46	41	5	5 482	1 855	岩 手 県
△ 4 785	421	180	241	69	50	19	11 765	3 824	宮 城 県
△ 9 098	165	86	79	33	28	5	3 842	1 444	秋 田 県
△ 7 066	173	88	85	34	27	7	4 699	1 670	山 形 県
△ 8 978	344	179	165	49	44	5	8 711	3 165	福 島 県
△ 8 468	491	239	252	97	72	25	13 800	4 955	茨 城 県
△ 5 313	356	154	202	67	45	22	9 770	3 322	栃 木 県
△ 6 919	326	155	171	61	52	9	9 089	3 312	群 馬 県
△ 5 504	1 382	665	717	221	181	40	35 218	12 484	埼 玉 県
△ 7 226	1 143	600	543	202	159	43	30 578	10 642	千 葉 県
△ 394	2 460	1 135	1 325	388	324	64	87 000	23 653	東 京 府
△ 1 391	1 566	771	795	274	213	61	48 851	16 004	神 奈 川 県
△ 11 836	391	190	201	78	69	9	9 954	3 175	新 潟 県
△ 5 028	155	84	71	37	33	4	4 540	1 417	富 山 県
△ 3 229	187	107	80	25	22	3	5 370	1 708	石 川 県
△ 2 651	161	75	86	28	23	5	3 706	1 135	福 井 県
△ 3 692	143	55	88	20	18	2	3 723	1 401	山 梨 県
△ 8 903	341	161	180	49	41	8	9 514	3 279	山 梨 県
△ 6 520	313	144	169	70	53	17	9 071	3 182	岐 阜 県
△ 9 658	629	336	293	121	99	22	18 066	6 439	静 岡 県
△ 2 792	1 358	641	717	231	191	40	41 410	12 780	愛 知 県
△ 5 798	308	157	151	60	49	11	8 555	3 098	三 重 県
△ 463	224	120	104	47	38	9	6 990	2 240	滋 賀 県
△ 5 924	447	210	237	71	60	11	12 671	4 462	京 都 府
△ 11 685	1 621	726	895	248	206	42	46 934	17 834	大 阪 府
△ 9 795	951	451	500	142	121	21	26 941	9 598	兵 庫 県
△ 4 210	205	99	106	37	27	10	6 002	2 225	和 歌 山 県
△ 5 469	148	61	87	28	22	6	4 419	1 914	和 歌 山 県
△ 2 549	109	49	60	20	15	5	2 663	1 029	鳥 取 県
△ 4 010	124	65	59	17	17	-	3 022	966	島 根 県
△ 5 214	354	148	206	45	37	8	9 265	3 212	岡 山 県
△ 5 688	468	212	256	71	53	18	14 194	4 838	広 島 県
△ 7 713	210	99	111	41	32	9	6 163	2 269	山 口 県
△ 4 351	129	75	54	22	15	7	3 322	1 269	徳 島 県
△ 3 758	169	71	98	17	14	3	4 693	1 719	香 川 県
△ 7 130	316	120	196	39	34	5	6 148	2 404	愛 媛 県
△ 4 969	149	50	99	15	11	4	3 116	1 364	高 知 県
△ 4 114	1 155	462	693	170	133	37	27 359	9 981	福 岡 県
△ 2 573	162	74	88	26	23	3	3 928	1 324	佐 賀 県
△ 5 768	302	134	168	42	37	5	6 137	2 316	長 崎 県
△ 4 903	458	185	273	44	36	8	8 714	3 105	熊 本 県
△ 4 786	257	93	164	31	22	9	5 391	2 004	大 分 県
△ 3 601	294	117	177	26	19	7	5 154	2 296	大 分 県
△ 7 177	391	155	236	47	37	10	7 837	3 025	鹿 児 島 県
△ 5 012	494	233	261	65	50	15	8 473	3 571	沖 縄 県
△ 98	8	7	1	3	3	-	.	.	外 国
△ .	2	2	-	-	-	-	.	.	不 詳
									(再掲)
△ 2 797	1 741	805	936	276	229	47	66 558	16 918	東京都の区部
△ 3 100	430	176	254	75	62	13	10 752	4 182	札 幌 市
△ 977	196	85	111	37	26	11	6 398	1 764	仙 台 市
△ 819	225	96	129	37	28	9	6 639	2 030	さいたま市
△ 526	181	108	73	31	25	6	4 699	1 701	千 葉 市
△ 111	624	313	311	110	87	23	19 911	6 424	横 浜 市
△ 3 992	258	130	128	39	30	9	10 307	2 509	川 崎 市
△ 66	130	56	74	22	16	6	3 612	1 374	相 模 原 市
△ 1 899	155	73	82	39	35	4	3 841	1 207	新 潟 市
△ 2 021	128	76	52	23	18	5	3 516	1 186	静 岡 市
△ 976	134	78	56	26	22	4	4 070	1 343	浜 松 市
△ 1 071	448	200	248	61	52	9	13 803	4 364	名 古 屋 市
△ 2 946	257	115	142	46	40	6	7 714	2 647	京 都 府
△ 5 198	561	230	331	81	69	12	17 488	6 251	大 阪 府
△ 788	162	66	96	25	22	3	4 372	1 699	堺 市
△ 2 892	256	110	146	38	34	4	7 768	2 838	神 戸 市
△ 9	161	69	92	23	20	3	3 868	1 299	岡 山 市
△ 872	226	95	131	29	22	7	6 588	2 137	廣 島 市
△ 2 607	223	85	138	24	18	6	4 939	1 977	北 九 州 市
△ 3 507	300	122	178	45	36	9	10 013	3 016	福 岡 市
△ 621	192	84	108	16	13	3	4 059	1 294	熊 本 市

第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ⁴⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対) ³⁾	(人口千対) ³⁾	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対) ³⁾	(出産千対)		
全 国 ²⁾	8.0	10.1	2.1	0.9	△ 2.1	22.9	10.6	12.3
北海道	6.9	11.2	1.6	0.9	△ 4.3	28.9	12.1	16.8
青森	6.7	12.9	1.9	1.0	△ 6.2	27.5	11.9	15.6
岩手	6.9	12.7	1.9	0.7	△ 5.8	23.6	13.0	10.6
宮城	7.8	9.9	1.9	1.3	△ 2.1	22.8	9.7	13.0
秋田	5.8	14.6	2.5	1.0	△ 8.8	26.8	14.0	12.8
山形	7.1	13.4	2.4	1.1	△ 6.3	21.3	10.8	10.4
福島	7.5	12.2	1.9	0.7	△ 4.7	23.1	12.0	11.1
茨城	7.6	10.5	2.7	1.4	△ 2.9	22.0	10.7	11.3
栃木	7.9	10.6	3.6	1.8	△ 2.7	22.5	9.7	12.8
群馬	7.5	11.0	1.3	0.7	△ 3.6	22.0	10.4	11.5
埼玉	7.8	8.6	2.1	1.0	△ 0.8	24.2	11.6	12.5
千葉	7.6	8.8	2.2	1.1	△ 1.2	23.9	12.5	11.3
東京都	8.5	8.5	1.9	0.8	△ 0.0	21.8	10.0	11.7
神奈川県	8.1	8.3	2.0	1.0	△ 0.2	21.0	10.3	10.7
新潟	7.2	12.3	2.0	0.8	△ 5.1	23.2	11.3	11.9
富山	7.1	11.9	2.2	0.5	△ 4.7	20.1	10.9	9.2
石川	7.8	10.6	2.3	0.6	△ 2.8	20.4	11.7	8.7
福井	7.9	11.3	1.9	0.8	△ 3.4	25.4	11.9	13.6
山梨	7.3	11.8	1.8	0.5	△ 4.4	23.0	8.9	14.2
長野	7.6	11.9	1.5	0.6	△ 4.3	21.1	9.9	11.1
岐阜	7.5	10.8	2.4	1.4	△ 3.2	20.3	9.3	10.9
静岡県	7.9	10.5	2.1	1.0	△ 2.6	21.5	11.5	10.0
愛知県	8.9	8.6	2.1	0.9	0.4	20.4	9.6	10.8
三重	7.7	10.9	2.0	1.1	△ 3.2	21.9	11.2	10.8
滋賀	9.1	8.8	1.6	0.8	0.3	17.3	9.3	8.0
京都	7.6	9.9	1.8	0.8	△ 2.3	22.3	10.5	11.8
大阪	8.1	9.4	2.0	0.9	△ 1.3	22.6	10.1	12.5
兵庫県	8.1	9.9	2.1	0.7	△ 1.8	21.0	10.0	11.0
奈良	7.0	10.1	2.5	1.2	△ 3.1	20.9	10.1	10.8
和歌山	7.4	13.0	2.5	0.8	△ 5.7	20.3	8.4	11.9
鳥取	7.9	12.4	3.5	1.3	△ 4.5	23.5	10.6	12.9
島根	7.7	13.5	2.4	0.6	△ 5.8	22.6	11.9	10.8
岡山	8.3	11.0	1.6	0.8	△ 2.7	21.9	9.1	12.7
広島	8.5	10.5	1.9	1.1	△ 2.0	19.3	8.7	10.6
山口	7.3	12.8	2.5	1.5	△ 5.5	20.2	9.5	10.7
徳島	7.2	13.0	3.5	1.6	△ 5.7	22.9	13.3	9.6
香川	8.0	11.8	1.5	0.8	△ 3.9	21.4	9.0	12.4
愛媛	7.5	12.6	1.5	0.9	△ 5.1	29.5	11.2	18.3
高知	6.8	13.6	2.4	1.0	△ 6.8	28.9	9.7	19.2
福岡	9.0	9.8	2.2	1.0	△ 0.8	24.9	10.0	14.9
佐賀	8.6	11.7	1.3	0.7	△ 3.1	22.1	10.1	12.0
長崎	8.2	12.4	2.1	0.4	△ 4.2	26.0	11.5	14.5
熊本	8.7	11.5	1.6	0.6	△ 2.7	28.6	11.6	17.0
大分	8.0	12.1	2.3	1.1	△ 4.1	27.0	9.8	17.2
宮崎	8.6	11.8	2.5	0.9	△ 3.2	30.0	11.9	18.1
鹿児島	8.6	12.9	2.7	1.2	△ 4.3	26.7	10.6	16.1
沖縄	11.6	8.1	2.9	1.2	3.6	29.3	13.8	15.5
(再掲)								
東京都の区部	8.6	8.3	1.9	0.9	0.3	21.7	10.0	11.7
札幌市	7.5	9.1	1.8	1.0	△ 1.6	28.7	11.7	16.9
仙台市	8.6	7.7	1.8	1.4	0.9	20.8	9.0	11.8
さいたま市	8.3	7.6	1.6	0.9	0.7	21.2	9.0	12.1
千葉市	7.5	8.1	1.8	1.4	△ 0.5	24.3	14.5	9.8
横浜市	8.1	8.1	1.5	0.9	0.0	20.3	10.2	10.1
川崎市	9.7	6.9	2.1	0.9	2.7	17.9	9.0	8.9
相模原市	7.6	7.6	2.7	1.3	0.1	23.0	9.9	13.1
新潟市	7.6	10.0	2.3	1.0	△ 2.4	24.5	11.5	12.9
静岡市	7.6	10.5	2.0	1.3	△ 2.9	23.3	13.8	9.5
浜松市	8.4	9.6	2.6	0.8	△ 1.2	19.8	11.5	8.3
名古屋市	8.5	9.0	2.4	0.9	△ 0.5	22.7	10.1	12.5
京都市	7.5	9.5	1.5	0.8	△ 2.0	22.9	10.2	12.6
大阪市	8.2	10.1	1.8	0.9	△ 1.9	24.9	10.2	14.7
堺市	8.2	9.1	1.5	0.9	△ 0.9	23.1	9.4	13.7
神戸市	7.8	9.6	1.8	0.8	△ 1.9	21.0	9.0	12.0
岡山市	8.9	8.9	1.3	0.8	0.0	24.6	10.5	14.0
広島市	9.1	8.4	2.3	1.1	0.7	20.5	8.6	11.9
北九州市	8.2	10.9	2.2	0.9	△ 2.7	27.4	10.5	17.0
福岡市	9.6	7.3	1.9	0.8	2.3	20.2	8.2	12.0
熊本市	9.5	8.7	0.7	0.6	0.8	26.6	11.6	14.9

注：1) 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。
 2) 全国には住所が外国・不詳を含む。
 3) 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」20ページ参照。
 4) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。

周産期 ⁵⁾ 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 ⁵⁾ 以後の死産率 (出産千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対) ³⁾	離 婚 率 (人口千対) ³⁾	合計特殊 ⁶⁾ 出生率	都道府県 ¹⁾
3.7	3.0	0.7	5.1	1.77	1.42	全 国 ²⁾
4.0	3.3	0.7	4.8	2.04	1.27	北 海 道
3.2	2.3	0.9	4.2	1.67	1.42	青 森
5.2	4.6	0.6	4.3	1.45	1.44	岩 手
3.8	2.8	1.1	5.1	1.65	1.30	宮 城
5.5	4.6	0.8	3.7	1.40	1.34	秋 田
4.3	3.4	0.9	4.2	1.48	1.47	山 形
3.4	3.0	0.3	4.5	1.64	1.58	福 島
4.4	3.3	1.1	4.8	1.72	1.43	茨 城
4.3	2.9	1.4	5.0	1.70	1.46	栃 木
4.2	3.6	0.6	4.7	1.71	1.44	群 馬
4.0	3.2	0.7	4.9	1.75	1.31	埼 玉
4.3	3.4	0.9	5.0	1.74	1.32	千 葉
3.5	2.9	0.6	6.7	1.81	1.15	東 京
3.7	2.9	0.8	5.4	1.78	1.31	神 奈 川
4.7	4.2	0.5	4.3	1.38	1.43	新 潟
4.9	4.3	0.5	4.3	1.34	1.45	富 山
2.8	2.4	0.3	4.7	1.49	1.45	石 川
4.5	3.7	0.8	4.8	1.46	1.55	福 井
3.3	3.0	0.3	4.5	1.69	1.43	山 梨
3.1	2.6	0.5	4.6	1.57	1.54	山 長 野
4.6	3.5	1.1	4.5	1.58	1.42	岐 阜
4.2	3.4	0.8	4.9	1.76	1.50	静 岡
3.5	2.9	0.6	5.7	1.75	1.46	愛 知
4.4	3.6	0.8	4.8	1.73	1.45	三 重
3.7	3.0	0.7	5.0	1.60	1.53	滋 賀
3.6	3.1	0.6	4.9	1.74	1.24	京 都
3.5	2.9	0.6	5.4	2.06	1.31	大 阪
3.2	2.7	0.5	4.9	1.76	1.41	兵 庫
3.8	2.8	1.0	4.4	1.63	1.27	奈 良
3.9	3.1	0.8	4.6	1.98	1.55	和 歌 山
4.4	3.3	1.1	4.7	1.80	1.60	鳥 取
3.2	3.2	-	4.4	1.40	1.66	島 根
2.8	2.3	0.5	4.9	1.68	1.49	岡 山
3.0	2.2	0.8	5.1	1.73	1.55	廣 島
4.0	3.1	0.9	4.4	1.62	1.54	山 口
4.0	2.7	1.3	4.4	1.67	1.46	徳 島
2.2	1.8	0.4	4.8	1.76	1.57	香 川
3.7	3.3	0.5	4.4	1.73	1.50	愛 媛
3.0	2.2	0.8	4.2	1.86	1.45	高 知
3.7	2.9	0.8	5.4	1.98	1.46	福 岡
3.6	3.2	0.4	4.7	1.59	1.63	佐 賀
3.7	3.3	0.4	4.4	1.68	1.66	長 崎
2.8	2.3	0.5	4.9	1.74	1.64	熊 本
3.3	2.4	1.0	4.6	1.72	1.57	大 分
2.7	2.0	0.7	4.6	2.07	1.69	宮 崎
3.3	2.6	0.7	4.7	1.82	1.62	鹿 児 島
4.0	3.0	0.9	6.0	2.53	1.86	沖 縄
						(再掲)
3.5	2.9	0.6	7.3	1.85	...	東京都の区部
5.1	4.2	0.9	5.5	2.15	...	札 幌 市
4.0	2.8	1.2	6.0	1.64	...	仙 台 市
3.5	2.7	0.9	5.3	1.61	...	さいたま市
4.2	3.4	0.8	4.9	1.76	...	千 葉 市
3.6	2.9	0.8	5.4	1.73	...	横 浜 市
2.8	2.1	0.6	7.1	1.72	...	川 崎 市
4.0	2.9	1.1	5.0	1.90	...	相 模 原 市
6.3	5.6	0.6	4.8	1.49	...	新 潟 市
4.3	3.3	0.9	5.0	1.68	...	静 岡 市
3.9	3.3	0.6	5.1	1.70	...	浜 松 市
3.1	2.7	0.5	6.1	1.92	...	名 古 屋 市
4.2	3.6	0.5	5.3	1.80	...	京 都 市
3.7	3.1	0.5	6.5	2.33	...	大 阪 市
3.6	3.2	0.4	5.2	2.02	...	堺 市
3.2	2.8	0.3	5.1	1.85	...	神 戸 市
3.6	3.1	0.5	5.4	1.82	...	岡 山 市
2.7	2.0	0.6	5.6	1.80	...	広 島 市
3.0	2.3	0.8	5.1	2.05	...	北 九 州 市
3.1	2.5	0.6	6.6	1.99	...	福 岡 市
2.3	1.8	0.4	5.5	1.75	...	熊 本 市

5) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除したものである。

6) 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女性の日本人口、都道府県値は5歳階級別の女性の総人口を用いた。

第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数

(1) 母の年齢（5歳階級）別

(単位：人)

母の年齢	昭和60年	平成7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
総数	1 431 577	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 071 304	1 037 231	1 029 816	1 003 539
14歳以下	23	37	43	42	51	59	51	43
15～19	17 854	16 075	19 729	16 531	13 495	12 711	12 913	12 968
20～24	247 341	193 514	161 361	128 135	110 956	95 805	91 250	86 590
25～29	682 885	492 714	470 833	339 328	306 910	292 464	282 794	267 847
30～34	381 466	371 773	396 901	404 700	384 385	367 715	365 404	359 323
35～39	93 501	100 053	126 409	153 440	220 101	225 480	229 741	225 889
40～44	8 224	12 472	14 848	19 750	34 609	42 031	46 546	49 606
45～49	244	414	396	564	773	928	1 069	1 214
50歳以上	1	-	6	34	19	32	47	58

注：総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 出生順位別

(単位：人)

出生順位	昭和60年	平成7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
総数	1 431 577	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 071 304	1 037 231	1 029 816	1 003 539
第1子	602 005	567 530	583 220	512 412	509 736	484 710	481 418	474 196
第2子	562 920	428 394	434 964	399 307	390 212	382 461	379 466	364 763
第3子以上	266 652	191 140	172 363	150 811	171 356	170 060	168 932	164 580

注：出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

(単位：人)

母の年齢	平成26年				平成25年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1 003 539	474 196	364 763	164 580	1 029 816	481 418	379 466	168 932
14歳以下	43	43	-	-	51	51	-	-
15～19	12 968	11 575	1 317	76	12 913	11 609	1 240	64
20～24	86 590	58 556	23 244	4 790	91 250	61 033	25 300	4 917
25～29	267 847	152 493	85 469	29 885	282 794	158 323	92 517	31 954
30～34	359 323	151 727	143 580	64 016	365 404	152 245	148 301	64 858
35～39	225 889	80 142	92 201	53 546	229 741	80 051	94 263	55 427
40～44	49 606	19 084	18 602	11 920	46 546	17 609	17 534	11 403
45～49	1 214	534	339	341	1 069	463	300	306
50歳以上	58	41	11	6	47	33	11	3

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第5表 年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率（内訳）

（1）年齢（5歳階級）別

年 齢	昭和60年	平成7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
総 数 (合計特殊出生率)	1.76	1.42	1.36	1.26	1.39	1.41	1.43	1.42
15～19歳	0.0229	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232	0.0219	0.0221	0.0224
20～24	0.3173	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	0.1607	0.1555	0.1487
25～29	0.8897	0.5880	0.4967	0.4228	0.4356	0.4325	0.4298	0.4204
30～34	0.4397	0.4677	0.4620	0.4285	0.4789	0.4916	0.5016	0.5033
35～39	0.0846	0.1311	0.1572	0.1761	0.2318	0.2525	0.2677	0.2747
40～44	0.0094	0.0148	0.0194	0.0242	0.0387	0.0448	0.0486	0.0516
45～49	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0010	0.0012	0.0013	0.0014

注：年齢階級別の数値は各歳の年齢別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

（2）出生順位別

出 生 順 位	昭和60年	平成7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
総 数 (合計特殊出生率)	1.76	1.42	1.36	1.26	1.39	1.41	1.43	1.42
第1子	0.7611	0.6607	0.6617	0.6240	0.6835	0.6781	0.6871	0.6914
第2子	0.6950	0.5209	0.4949	0.4643	0.4956	0.5095	0.5174	0.5088
第3子以上	0.3078	0.2410	0.2026	0.1717	0.2082	0.2176	0.2221	0.2222

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の各歳の年齢別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

（3）年齢（5歳階級）・出生順位別

年 齢	平成26年				平成25年			
	総 数	第1子	第2子	第3子以上	総 数	第1子	第2子	第3子以上
総 数	1.42	0.6914	0.5088	0.2222	1.43	0.6871	0.5174	0.2221
15～19歳	0.0224	0.0200	0.0023	0.0001	0.0221	0.0199	0.0021	0.0001
20～24	0.1487	0.1005	0.0399	0.0082	0.1555	0.1041	0.0431	0.0083
25～29	0.4204	0.2398	0.1338	0.0467	0.4298	0.2412	0.1403	0.0483
30～34	0.5033	0.2130	0.2009	0.0894	0.5016	0.2097	0.2033	0.0886
35～39	0.2747	0.0975	0.1122	0.0650	0.2677	0.0933	0.1099	0.0644
40～44	0.0516	0.0198	0.0193	0.0124	0.0486	0.0184	0.0183	0.0119
45～49	0.0014	0.0007	0.0004	0.0004	0.0013	0.0006	0.0004	0.0004

注：1 年齢階級別の数値は各歳の年齢別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

2 出生順位別の総数の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の各歳の年齢別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。

第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合

死 因	平成 26 年			平成 25 年			対前年増減	
	死亡数 (人)	死亡率	死亡総数に 占める割合 (%)	死亡数 (人)	死亡率	死亡総数に 占める割合 (%)	死亡数 (人)	死亡率
総 数								
全 死 因	1 273 004	1 014.9	100.0	1 268 436	1 009.1	100.0	4 568	5.8
悪 性 新 生 物 患 者 (1)	368 103	293.5	28.9	364 872	290.3	28.8	3 231	3.2
心 疾 患 (2)	196 925	157.0	15.5	196 723	156.5	15.5	202	0.5
肺 炎 (3)	119 650	95.4	9.4	122 969	97.8	9.7	△3 319	△ 2.4
脳 血 管 疾 患 (4)	114 207	91.1	9.0	118 347	94.1	9.3	△4 140	△ 3.0
老 衰 (5)	75 389	60.1	5.9	69 720	55.5	5.5	5 669	4.6
不 慮 の 事 故 (6)	39 029	31.1	3.1	39 574	31.5	3.1	△ 545	△ 0.4
腎 不 全 (7)	24 776	19.8	1.9	25 101	20.0	2.0	△ 325	△ 0.2
自 殺 (8)	24 417	19.5	1.9	26 063	20.7	2.1	△1 646	△ 1.2
大 動 脈 瘤 及 び 解 離 (9)	16 423	13.1	1.3	16 105	12.8	1.3	318	0.3
慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (10)	16 184	12.9	1.3	16 443	13.1	1.3	△ 259	△ 0.2
男								
全 死 因	660 334	1 081.8	100.0	658 684	1 076.5	100.0	1 650	5.3
悪 性 新 生 物 患 者 (1)	218 397	357.8	33.1	216 975	354.6	32.9	1 422	3.2
心 疾 患 (2)	92 278	151.2	14.0	91 445	149.5	13.9	833	1.7
肺 炎 (3)	64 780	106.1	9.8	66 362	108.5	10.1	△1 582	△ 2.4
脳 血 管 疾 患 (4)	54 995	90.1	8.3	56 718	92.7	8.6	△1 723	△ 2.6
不 慮 の 事 故 (5)	22 562	37.0	3.4	23 043	37.7	3.5	△ 481	△ 0.7
老 衰 (6)	18 316	30.0	2.8	16 821	27.5	2.6	1 495	2.5
自 殺 (7)	16 875	27.6	2.6	18 158	29.7	2.8	△1 283	△ 2.1
慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (8)	13 002	21.3	2.0	13 057	21.3	2.0	△ 55	0.0
腎 不 全 (9)	11 935	19.6	1.8	12 003	19.6	1.8	△ 68	0.0
肝 疾 患 (10)	10 031	16.4	1.5	10 360	16.9	1.6	△ 329	△ 0.5
女								
全 死 因	612 670	951.5	100.0	609 752	945.1	100.0	2 918	6.4
悪 性 新 生 物 患 者 (1)	149 706	232.5	24.4	147 897	229.2	24.3	1 809	3.3
心 疾 患 (2)	104 647	162.5	17.1	105 278	163.2	17.3	△ 631	△ 0.7
脳 血 管 疾 患 (3)	59 212	92.0	9.7	61 629	95.5	10.1	△2 417	△ 3.5
老 衰 (4)	57 073	88.6	9.3	52 899	82.0	8.7	4 174	6.6
肺 炎 (5)	54 870	85.2	9.0	56 607	87.7	9.3	△1 737	△ 2.5
不 慮 の 事 故 (6)	16 467	25.6	2.7	16 531	25.6	2.7	△ 64	0.0
腎 不 全 (7)	12 841	19.9	2.1	13 098	20.3	2.1	△ 257	△ 0.4
大 動 脈 瘤 及 び 解 離 (8)	7 816	12.1	1.3	7 705	11.9	1.3	111	0.2
血 管 性 等 の 認 知 症 (9)	7 566	11.8	1.2	7 292	11.3	1.2	274	0.5
自 殺 (10)	7 542	11.7	1.2	7 905	12.3	1.3	△ 363	△ 0.6

注：1 ()内の数字は、死因順位を示す。

2 「心疾患」は「心疾患（高血圧性を除く）」、「血管性等の認知症」は「血管性及び詳細不明の認知症」である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-1)

死 因 簡単分類 コード	死 因	平 成 26 年						平 成 25 年	
		死 亡 数 (人)			死 亡 率			死亡数(人)	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
	総 数	1 273 004	660 334	612 670	1 014.9	1 081.8	951.5	1 268 436	1 009.1
01000	感染症及び寄生虫症	25 569	12 321	13 248	20.4	20.2	20.6	25 733	20.5
01100	腸管感染症	2 417	1 048	1 369	1.9	1.7	2.1	2 586	2.1
01200	結核	2 100	1 251	849	1.7	2.0	1.3	2 087	1.7
01201	呼吸器結核	1 836	1 130	706	1.5	1.9	1.1	1 837	1.5
01202	その他の結核	264	121	143	0.2	0.2	0.2	250	0.2
01300	敗血症	11 279	5 339	5 940	9.0	8.7	9.2	11 158	8.9
01400	ウイルス肝炎	4 747	2 151	2 596	3.8	3.5	4.0	4 882	3.9
01401	B型ウイルス肝炎	482	284	198	0.4	0.5	0.3	450	0.4
01402	C型ウイルス肝炎	4 033	1 755	2 278	3.2	2.9	3.5	4 158	3.3
01403	その他のウイルス肝炎	232	112	120	0.2	0.2	0.2	274	0.2
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	45	40	5	0.0	0.1	0.0	45	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 981	2 492	2 489	4.0	4.1	3.9	4 975	4.0
02000	新生物	379 109	224 124	154 985	302.2	367.2	240.7	375 867	299.0
02100	悪性新生物	368 103	218 397	149 706	293.5	357.8	232.5	364 872	290.3
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	7 415	5 268	2 147	5.9	8.6	3.3	7 179	5.7
02102	食道の悪性新生物	11 576	9 629	1 947	9.2	15.8	3.0	11 543	9.2
02103	胃の悪性新生物	47 903	31 483	16 420	38.2	51.6	25.5	48 632	38.7
02104	結腸の悪性新生物	33 297	16 478	16 819	26.5	27.0	26.1	32 682	26.0
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	15 188	9 699	5 489	12.1	15.9	8.5	14 972	11.9
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	29 543	19 208	10 335	23.6	31.5	16.1	30 175	24.0
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	18 117	9 052	9 065	14.4	14.8	14.1	18 225	14.5
02108	膵の悪性新生物	31 716	16 411	15 305	25.3	26.9	23.8	30 672	24.4
02109	喉頭の悪性新生物	978	908	70	0.8	1.5	0.1	963	0.8
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	73 396	52 505	20 891	58.5	86.0	32.4	72 734	57.9
02111	皮膚の悪性新生物	1 657	797	860	1.3	1.3	1.3	1 525	1.2
02112	乳房の悪性新生物	13 323	83	13 240	10.6	0.1	20.6	13 230	10.5
02113	子宮の悪性新生物	6 429	・	6 429	10.0	・	10.0	6 033	¹⁾ 9.4
02114	卵巣の悪性新生物	4 840	・	4 840	7.5	・	7.5	4 717	¹⁾ 7.3
02115	前立腺の悪性新生物	11 507	11 507	・	18.9	18.9	・	11 560	²⁾ 18.9
02116	膀胱の悪性新生物	7 760	5 308	2 452	6.2	8.7	3.8	7 685	6.1
02117	中枢神経系の悪性新生物	2 326	1 344	982	1.9	2.2	1.5	2 217	1.8
02118	悪性リンパ腫	11 480	6 427	5 053	9.2	10.5	7.8	11 298	9.0
02119	白血病	8 196	4 896	3 300	6.5	8.0	5.1	8 133	6.5
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 237	2 233	2 004	3.4	3.7	3.1	4 163	3.3
02121	その他の悪性新生物	27 219	15 161	12 058	21.7	24.8	18.7	26 534	21.1
02200	その他の新生物	11 006	5 727	5 279	8.8	9.4	8.2	10 995	8.7
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 581	1 212	1 369	2.1	2.0	2.1	2 670	2.1
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	8 425	4 515	3 910	6.7	7.4	6.1	8 325	6.6
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 313	1 862	2 451	3.4	3.1	3.8	4 514	3.6
03100	貧血	1 926	749	1 177	1.5	1.2	1.8	2 010	1.6
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	2 387	1 113	1 274	1.9	1.8	2.0	2 504	2.0
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	21 065	10 561	10 504	16.8	17.3	16.3	21 484	17.1
04100	糖尿病	13 669	7 265	6 404	10.9	11.9	9.9	13 812	11.0
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	7 396	3 296	4 100	5.9	5.4	6.4	7 672	6.1

注：1）女性人口10万対である。

2）男性人口10万対である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-2)

死因 簡単分類 コード	死 因	平成 26 年						平成 25 年	
		死 亡 数 (人)			死 亡 率			死亡数(人)	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
05000	精神及び行動の障害	12 684	3 979	8 705	10.1	6.5	13.5	11 934	9.5
05100	血管性及び詳細不明の認知症	10 587	3 021	7 566	8.4	4.9	11.8	9 992	7.9
05200	その他の精神及び行動の障害	2 097	958	1 139	1.7	1.6	1.8	1 942	1.5
06000	神経系の疾患	28 384	13 032	15 352	22.6	21.3	23.8	26 885	21.4
06100	髄膜炎	304	178	126	0.2	0.3	0.2	289	0.2
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 314	1 353	961	1.8	2.2	1.5	2 297	1.8
06300	パーキンソン病	6 578	3 133	3 445	5.2	5.1	5.4	6 577	5.2
06400	アルツハイマー病	9 453	3 033	6 420	7.5	5.0	10.0	8 183	6.5
06500	その他の神経系の疾患	9 735	5 335	4 400	7.8	8.7	6.8	9 539	7.6
07000	眼及び付属器の疾患	3	2	1	0.0	0.0	0.0	5	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	12	8	4	0.0	0.0	0.0	18	0.0
09000	循環器系の疾患	341 795	161 823	179 972	272.5	265.1	279.5	345 688	275.0
09100	高血圧性疾患	6 932	2 637	4 295	5.5	4.3	6.7	7 165	5.7
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 394	1 253	2 141	2.7	2.1	3.3	3 660	2.9
09102	その他の高血圧性疾患	3 538	1 384	2 154	2.8	2.3	3.3	3 505	2.8
09200	心疾患（高血圧性を除く）	196 925	92 278	104 647	157.0	151.2	162.5	196 723	156.5
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 308	720	1 588	1.8	1.2	2.5	2 330	1.9
09202	急性心筋梗塞	38 991	21 801	17 190	31.1	35.7	26.7	39 956	31.8
09203	その他の虚血性心疾患	34 894	20 119	14 775	27.8	33.0	22.9	34 853	27.7
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	10 217	3 264	6 953	8.1	5.3	10.8	10 139	8.1
09205	心筋症	3 841	2 152	1 689	3.1	3.5	2.6	3 809	3.0
09206	不整脈及び伝導障害	29 739	14 441	15 298	23.7	23.7	23.8	28 676	22.8
09207	心不全	71 656	26 916	44 740	57.1	44.1	69.5	71 922	57.2
09208	その他の心疾患	5 279	2 865	2 414	4.2	4.7	3.7	5 038	4.0
09300	脳血管疾患	114 207	54 995	59 212	91.1	90.1	92.0	118 347	94.1
09301	くも膜下出血	12 662	4 713	7 949	10.1	7.7	12.3	12 479	9.9
09302	脳内出血	32 550	17 831	14 719	26.0	29.2	22.9	32 962	26.2
09303	脳梗塞	66 058	31 093	34 965	52.7	50.9	54.3	69 967	55.7
09304	その他の脳血管疾患	2 937	1 358	1 579	2.3	2.2	2.5	2 939	2.3
09400	大動脈瘤及び解離	16 423	8 607	7 816	13.1	14.1	12.1	16 105	12.8
09500	その他の循環器系の疾患	7 308	3 306	4 002	5.8	5.4	6.2	7 348	5.8
10000	呼吸器系の疾患	202 628	115 235	87 393	161.5	188.8	135.7	203 673	162.0
10100	インフルエンザ	1 130	559	571	0.9	0.9	0.9	1 514	1.2
10200	肺炎	119 650	64 780	54 870	95.4	106.1	85.2	122 969	97.8
10300	急性気管支炎	505	175	330	0.4	0.3	0.5	517	0.4
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 184	13 002	3 182	12.9	21.3	4.9	16 443	13.1
10500	喘息	1 550	590	960	1.2	1.0	1.5	1 728	1.4
10600	その他の呼吸器系の疾患	63 609	36 129	27 480	50.7	59.2	42.7	60 502	48.1
11000	消化器系の疾患	47 944	25 115	22 829	38.2	41.1	35.5	47 573	37.8
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2 795	1 609	1 186	2.2	2.6	1.8	2 828	2.2
11200	ヘルニア及び腸閉塞	6 841	3 231	3 610	5.5	5.3	5.6	6 740	5.4
11300	肝疾患	15 692	10 031	5 661	12.5	16.4	8.8	15 930	12.7
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	7 800	4 232	3 568	6.2	6.9	5.5	7 953	6.3
11302	その他の肝疾患	7 892	5 799	2 093	6.3	9.5	3.3	7 977	6.3
11400	その他の消化器系の疾患	22 616	10 244	12 372	18.0	16.8	19.2	22 075	17.6

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-3)

死因 简单分類 コード	死 因	平成 26 年						平成 25 年	
		死 亡 数 (人)			死 亡 率			死亡数(人)	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 633	640	993	1.3	1.0	1.5	1 465	1.2
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 992	2 294	3 698	4.8	3.8	5.7	5 849	4.7
14000	腎尿路生殖器系の疾患	36 757	16 283	20 474	29.3	26.7	31.8	36 387	28.9
14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	4 354	1 589	2 765	3.5	2.6	4.3	4 350	3.5
14200	腎不全	24 776	11 935	12 841	19.8	19.6	19.9	25 101	20.0
14201	急性腎不全	3 687	1 639	2 048	2.9	2.7	3.2	3 868	3.1
14202	慢性腎不全	15 717	7 853	7 864	12.5	12.9	12.2	15 621	12.4
14203	詳細不明の腎不全	5 372	2 443	2 929	4.3	4.0	4.5	5 612	4.5
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	7 627	2 759	4 868	6.1	4.5	7.6	6 936	5.5
15000	妊娠、分娩及び産じょく	33	・	33	0.1	・	0.1	41	¹⁾ 0.1
16000	周産期に発生した病態	532	269	263	0.4	0.4	0.4	561	0.4
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	59	27	32	0.0	0.0	0.0	60	0.0
16200	出産外傷	13	8	5	0.0	0.0	0.0	6	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	266	138	128	0.2	0.2	0.2	314	0.2
16400	周産期に特異的な感染症	44	22	22	0.0	0.0	0.0	31	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	64	29	35	0.1	0.0	0.1	77	0.1
16600	その他の周産期に発生した病態	86	45	41	0.1	0.1	0.1	73	0.1
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2 042	993	1 049	1.6	1.6	1.6	2 079	1.7
17100	神経系の先天奇形	102	53	49	0.1	0.1	0.1	90	0.1
17200	循環器系の先天奇形	945	431	514	0.8	0.7	0.8	1 015	0.8
17201	心臓の先天奇形	659	307	352	0.5	0.5	0.5	704	0.6
17202	その他の循環器系の先天奇形	286	124	162	0.2	0.2	0.3	311	0.2
17300	消化器系の先天奇形	111	49	62	0.1	0.1	0.1	108	0.1
17400	その他の先天奇形及び変形	584	321	263	0.5	0.5	0.4	549	0.4
17500	染色体異常、他に分類されないもの	300	139	161	0.2	0.2	0.3	317	0.3
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	92 960	28 916	64 044	74.1	47.4	99.5	86 913	69.1
18100	老衰	75 389	18 316	57 073	60.1	30.0	88.6	69 720	55.5
18200	乳幼児突然死症候群	145	90	55	0.1	0.1	0.1	125	0.1
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	17 426	10 510	6 916	13.9	17.2	10.7	17 068	13.6
20000	傷病及び死亡の外因	69 549	42 877	26 672	55.4	70.2	41.4	71 767	57.1
20100	不慮の事故	39 029	22 562	16 467	31.1	37.0	25.6	39 574	31.5
20101	交通事故	5 717	3 923	1 794	4.6	6.4	2.8	6 060	4.8
20102	転倒・転落	7 946	4 520	3 426	6.3	7.4	5.3	7 766	6.2
20103	不慮の溺死及び溺水	7 508	3 879	3 629	6.0	6.4	5.6	7 523	6.0
20104	不慮の窒息	9 806	5 006	4 800	7.8	8.2	7.5	9 713	7.7
20105	煙、火及び火炎への曝露	1 086	666	420	0.9	1.1	0.7	1 304	1.0
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	677	419	258	0.5	0.7	0.4	694	0.6
20107	その他の不慮の事故	6 289	4 149	2 140	5.0	6.8	3.3	6 514	5.2
20200	自殺	24 417	16 875	7 542	19.5	27.6	11.7	26 063	20.7
20300	他殺	357	181	176	0.3	0.3	0.3	342	0.3
20400	その他の外因	5 746	3 259	2 487	4.6	5.3	3.9	5 788	4.6
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-	-	-	-

(別表)

日本における外国人の人口動態

平成26年

(単位：人)

国籍	出生数(母の国籍別)			死亡数			乳児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	14 993	7 784	7 209	6 751	3 699	3 052	31
韓国・朝鮮	1 043	513	530	4 694	2 540	2 154	1
中国	6 335	3 364	2 971	674	364	310	6
フィリピン	1 715	866	849	170	46	124	7
タイ	119	54	65	43	16	27	1
米国	260	129	131	158	94	64	6
英国	35	18	17	17	12	5	-
ブラジル	1 643	846	797	155	108	47	1
ペルー	512	266	246	44	27	17	-
その他の国	3 331	1 728	1 603	796	492	304	9

(単位：胎、組)

国籍	死産数 (母の国籍別)	婚姻件数		離婚件数	
		夫	妻	夫	妻
総数	420	3 337		1 455	
韓国・朝鮮	34	511	509	218	197
中国	131	694	795	699	717
フィリピン	77	78	232	3	63
タイ	7	16	44	43	52
米国	26	458	289	12	8
英国	1	43	18	2	-
ブラジル	27	579	543	88	60
ペルー	14	114	146	46	40
その他の国	103	844	761	344	318

注：本表における外国人とは、次のものをいう。

出生・死産は両親とも外国籍のもの、又は嫡出でない子のうち母が外国籍のもの

死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

外国における日本人の人口動態

平成26年

(単位：人、組)

出生数			死亡数			婚姻件数	離婚件数
総数	男	女	総数	男	女		
15 265	7 857	7 408	1 639	996	643	11 479	2 072

注：本表における日本人とは、次のものをいう。

出生は両親又は両親の一方が日本国籍のもの

死亡は死亡した者が日本国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻又は夫妻の一方が日本国籍のもの

諸率の算出に用いた人口

都道府県・男女別人口（日本人人口）

都 道 府 県	総 数	男	女
全 国	125 431 000	61 041 000	64 391 000
北海道	5 381 000	2 537 000	2 844 000
青森	1 318 000	619 000	699 000
岩手	1 280 000	613 000	667 000
宮城	2 316 000	1 129 000	1 187 000
秋田	1 034 000	485 000	549 000
山形	1 125 000	542 000	584 000
福島	1 928 000	942 000	986 000
茨城	2 881 000	1 437 000	1 445 000
栃木	1 954 000	972 000	982 000
群馬	1 941 000	956 000	984 000
埼玉	7 143 000	3 578 000	3 565 000
千葉	6 114 000	3 046 000	3 068 000
東京都	13 044 000	6 443 000	6 600 000
神奈川県	8 967 000	4 488 000	4 478 000
新潟	2 302 000	1 115 000	1 187 000
富山	1 059 000	512 000	548 000
石川	1 146 000	555 000	591 000
福井	780 000	378 000	402 000
山梨	830 000	407 000	423 000
長野	2 083 000	1 015 000	1 069 000
岐阜	2 008 000	973 000	1 035 000
静岡県	3 651 000	1 798 000	1 853 000
愛知県	7 298 000	3 651 000	3 647 000
三重	1 793 000	874 000	920 000
滋賀	1 397 000	689 000	707 000
京都	2 569 000	1 232 000	1 338 000
大阪	8 678 000	4 183 000	4 495 000
兵庫県	5 468 000	2 611 000	2 857 000
奈良	1 367 000	645 000	722 000
和歌山	967 000	455 000	512 000
鳥取	571 000	273 000	298 000
島根	692 000	332 000	360 000
岡山	1 907 000	916 000	991 000
広島	2 801 000	1 352 000	1 449 000
山口	1 397 000	660 000	737 000
徳島	760 000	362 000	398 000
香川	974 000	470 000	504 000
愛媛	1 388 000	654 000	734 000
高知	735 000	345 000	389 000
福岡	5 046 000	2 381 000	2 665 000
佐賀	831 000	392 000	439 000
長崎	1 380 000	645 000	735 000
熊本	1 785 000	840 000	945 000
大分	1 163 000	550 000	613 000
宮崎	1 110 000	522 000	588 000
鹿児島	1 662 000	778 000	883 000
沖縄	1 411 000	692 000	720 000

資料：「人口推計（平成26年10月1日現在）」（総務省統計局）

5歳階級・男女別人口（日本人人口）

年 齢 階 級	総 数	男	女
総 数	125 431 000	61 041 000	64 391 000
0 ～ 4歳	5 157 000	2 644 000	2 513 000
5 ～ 9	5 261 000	2 692 000	2 569 000
10 ～ 14	5 669 000	2 904 000	2 765 000
15 ～ 19	5 924 000	3 034 000	2 890 000
20 ～ 24	5 989 000	3 076 000	2 913 000
25 ～ 29	6 462 000	3 304 000	3 158 000
30 ～ 34	7 279 000	3 703 000	3 576 000
35 ～ 39	8 513 000	4 328 000	4 185 000
40 ～ 44	9 644 000	4 898 000	4 747 000
45 ～ 49	8 477 000	4 279 000	4 199 000
50 ～ 54	7 688 000	3 860 000	3 828 000
55 ～ 59	7 580 000	3 769 000	3 810 000
60 ～ 64	8 920 000	4 379 000	4 542 000
65 ～ 69	9 107 000	4 391 000	4 716 000
70 ～ 74	7 893 000	3 674 000	4 220 000
75 ～ 79	6 244 000	2 758 000	3 487 000
80 ～ 84	4 855 000	1 938 000	2 916 000
85 ～ 89	3 054 000	1 027 000	2 028 000
90 ～ 94	1 302 000	311 000	990 000
95 ～ 99	351 000	62 000	289 000
100歳以上	60 000	8 000	51 000

資料：「人口推計（平成26年10月1日現在）」（総務省統計局）

21大都市・男女別人口（総人口）

21大 都 市 （再掲）	総 数	男	女
東京都の区部	9 143 000	4 501 000	4 642 000
札幌市	1 943 000	906 000	1 037 000
仙台市	1 073 000	522 000	551 000
さいたま市	1 260 000	629 000	631 000
千葉市	966 000	481 000	485 000
横浜市	3 710 000	1 850 000	1 860 000
川崎市	1 461 000	742 000	719 000
相模原市	723 000	362 000	361 000
新潟市	808 000	388 000	420 000
静岡市	707 000	344 000	363 000
浜松市	791 000	392 000	399 000
名古屋	2 277 000	1 121 000	1 155 000
京都市	1 469 000	698 000	772 000
大阪市	2 686 000	1 303 000	1 383 000
堺市	840 000	403 000	437 000
神戸市	1 538 000	725 000	813 000
岡山市	715 000	344 000	371 000
広島市	1 186 000	571 000	615 000
北九州市	963 000	453 000	510 000
福岡市	1 519 000	718 000	802 000
熊本市	740 000	347 000	393 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成26年10月1日現在の総人口である。

基準人口（昭和60年モデル人口）

年 齢 階 級	基 準 人 口	年 齢 階 級	基 準 人 口
0 ～ 4歳	8 180 000	50 ～ 54歳	7 616 000
5 ～ 9	8 338 000	55 ～ 59	6 581 000
10 ～ 14	8 497 000	60 ～ 64	5 546 000
15 ～ 19	8 655 000	65 ～ 69	4 511 000
20 ～ 24	8 814 000	70 ～ 74	3 476 000
25 ～ 29	8 972 000	75 ～ 79	2 441 000
30 ～ 34	9 130 000	80 ～ 84	1 406 000
35 ～ 39	9 289 000	85歳以上	784 000
40 ～ 44	9 400 000	総 数	120 287 000
45 ～ 49	8 651 000		

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○ 合計特殊出生率は「15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の 2 つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A 期間合計特殊出生率

ある期間（1 年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49 歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の合計特殊出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B コーホート合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49 歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の合計特殊出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は B のコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が 50 歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとして A の期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの合計特殊出生率は同じ値になる。

○ ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計である A の期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計である B のコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

2. 平成 26 年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が 50 歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5 歳階級ごとに 1 つの世代とみて、5 年ごとの出生率を合計し、算出した^{*)}。

例えば 1975～1979 年生まれ（平成 26 年における 35～39 歳の世代）についての 39 歳までのコーホート合計特殊出生率は 1.40 であるが、40 歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.40 に今後の 40 歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により 40 歳以上の出生率（平成 26 年 0.0530）が上昇傾向であることから、少なくとも平成 26 年の期間合計特殊出生率（1.42）を上回ると見込まれる。

^{*)} 各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和59年 (1984)	平成元年 (1989)	6年 (1994)	11年 (1999)	16年 (2004)	21年 (2009)	平成26年 (2014)
年齢	1.81	1.57	1.50	1.34	1.29	1.37	1.42
15～19歳	0.0233	0.0182	0.0189	0.0242	0.0275	0.0249	0.0224
20～24	0.3418	0.2437	0.2144	0.1904	0.1859	0.1779	0.1487
25～29	0.9229	0.7342	0.6333	0.5012	0.4388	0.4320	0.4204
30～34	0.4325	0.4619	0.4882	0.4583	0.4364	0.4755	0.5033
35～39	0.0812	0.1029	0.1307	0.1501	0.1755	0.2217	0.2747
40～44	0.0091	0.0106	0.0142	0.0177	0.0239	0.0354	0.0516
45～49	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0006	0.0009	0.0014

② 各世代(コーホート)別にみた年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1965-1969 45～49歳の世代	1970-1974 40～44歳の世代	1975-1979 35～39歳の世代	1980-1984 30～34歳の世代	1985-1989 25～29歳の世代	1990-1994 20～24歳の世代	1995-1999 15～19歳の世代
15～19歳	0.0233	0.0182	0.0189	0.0242	0.0275	0.0249	0.0224
20～24	0.2437	0.2144	0.1904	0.1859	0.1779	0.1487	
25～29	0.6333	0.5012	0.4388	0.4320	0.4204		
30～34	0.4583	0.4364	0.4755	0.5033			
35～39	0.1755	0.2217	0.2747				
40～44	0.0354	0.0516					
45～49	0.0014						
コーホート 合計特殊出生率	1.57	1.44	1.40	1.15	0.63	0.17	0.02

③ コーホート合計特殊出生率(②の積み上げ)(ごく粗い計算)

	1965-1969 45～49歳の世代	1970-1974 40～44歳の世代	1975-1979 35～39歳の世代	1980-1984 30～34歳の世代	1985-1989 25～29歳の世代	1990-1994 20～24歳の世代	1995-1999 15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02
15～24	0.27	0.23	0.21	0.21	0.21	0.17	
15～29	0.90	0.73	0.65	0.64	0.63		
15～34	1.36	1.17	1.12	1.15			
15～39	1.53	1.39	1.40				
15～44	1.57	1.44					
15～49	1.57						

注：「15～19歳の世代」は平成7～11年生まれ、「20～24歳の世代」は平成2年～6年生まれ、
「25～29歳の世代」は昭和60～平成元年生まれ、「30～34歳の世代」は昭和55～59年生まれ、
「35～39歳の世代」は昭和50～54年生まれ、「40～44歳の世代」は昭和45～49年生まれ、
「45～49歳の世代」は昭和40～44年生まれ。

出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「（期間）合計特殊出生率」、
「（15～49歳女性人口の）年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を
「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の) 年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成25年	103.0万人	=	2,591万人	×	$\frac{1.43}{35}$	×	0.975
	↓△2.6%		↓△1.0%		↓△0.3%		↓△1.3%

平成26年	100.4万人	=	2,567万人	×	$\frac{1.42}{35}$	×	0.962
-------	---------	---	---------	---	-------------------	---	-------

(平成26年の合計特殊出生率が平成25年と同じだった場合、平成26年の出生数は前年より△2.3%であったと見込まれる。)

平成25年から26年の動向をみると、出生数の減少は「年齢構成の違い」の低下や「女性人口」の減少の影響が大きいことが分かる。

同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁のとおりであるが、

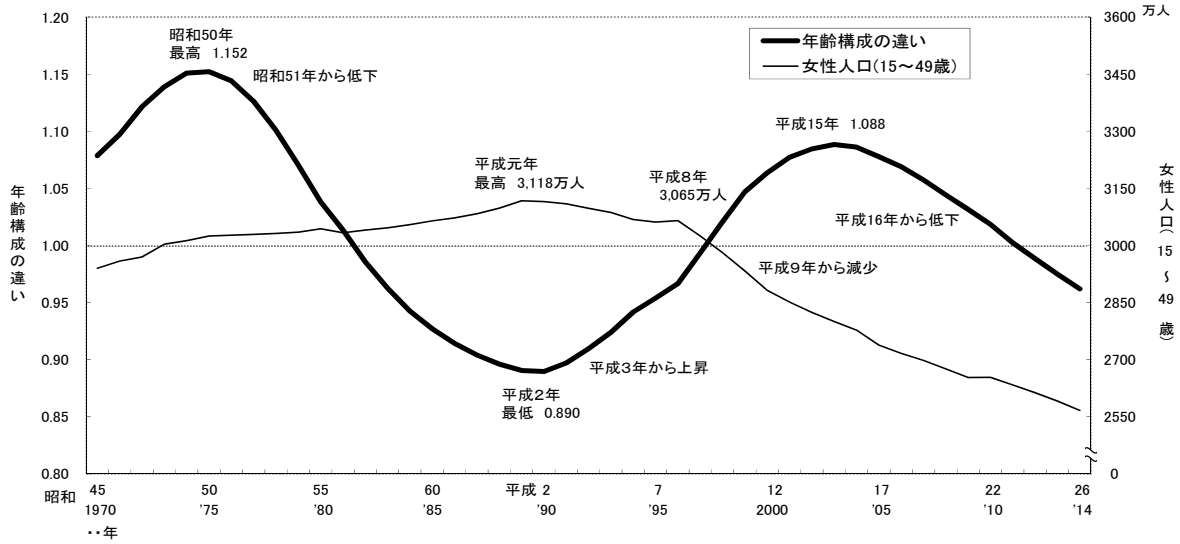
- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、昭和49年から平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を転換年として上昇と低下を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

注：1) (期間)合計特殊出生率は15歳から49歳までの35歳の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。

2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」/35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。出生率の高い年齢層に女性の人数が相対的に多くなっている場合には、「年齢構成の違い」は概ね1より大きくなる。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



(期間) 合計特殊出生率を用いた出生数の構造分析

年次	実 数				対前年増減率 (%)				
	出生数(人) ①×②×③	女性人口 (15～49歳) (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出 生 数	女性人口 (15～49歳)	合計特殊 出生率	年齢構成 の違い	
1970	昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
71	46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
72	47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
73	48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
74	49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
75	50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
76	51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
77	52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
78	53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
79	54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
1980	55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
81	56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
82	57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
83	58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
84	59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
85	60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
86	61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
87	62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
88	63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
89	平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
1990	2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
91	3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
92	4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
93	5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
94	6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
95	7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
96	8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
97	9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
98	10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
99	11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
2000	12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
01	13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
02	14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
03	15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
04	16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
05	17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
06	18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
07	19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
08	20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
09	21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
2010	22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3
11	23	1 050 806	26 337	1.39	1.002	△ 1.9	△ 0.7	0.4	△ 1.6
12	24	1 037 231	26 135	1.41	0.988	△ 1.3	△ 0.8	0.9	△ 1.4
13	25	1 029 816	25 915	1.43	0.975	△ 0.7	△ 0.8	1.5	△ 1.4
14	26	1 003 539	25 667	1.42	0.962	△ 2.6	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.3

注：1 「女性人口(15～49歳)」の転換年は平成9年
 2 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年、平成18年
 3 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、16年